

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名	一般国道23号 豊橋東バイパス		事業区分	地域高規格	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：愛知県豊橋市東細谷町 至：愛知県豊橋市野依町		延長	9.2 km		
事業概要	<p>一般国道23号豊橋東バイパスは、豊橋市東細谷を起点とし、同市野依町に至る延長約9.2 kmの道路で、名古屋都市圏と豊橋浜松間を結ぶ地域高規格道路：豊橋浜松道路の一部区間を形成します。豊橋東バイパスは、幹線道路の渋滞緩和（1号、23号）、物流拠点のアクセス支援及び地域振興の支援を目的として事業を推進しています。</p>					
H 4年度事業化	S 61年度都市計画決定	H 7年度用地着手	H 14年度工事着手			
全体事業費	約460億円		事業進捗率	39%	供用済延長	0 km
計画交通量	43,500台/日					
費用対効果分析結果	B/C 事業全体 7.0 事業費 12.1	総費用 事業費：229/431億円 維持管理費：45/45億円	総便益 走行時間短縮便益：2,913/2,913億円 走行費用減少便益：335/335億円 交通事故減少便益：85/85億円	基準年 平成18年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（浜松都市圏と豊橋都市圏の連携強化） 国土・地域ネットワークの構築 他 10項目に該当 					
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> 地元9市7町で構成される名豊道路建設推進協議会が早期整備を要望。 					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> 幹線道路の交通混雑 三河港の発展 地域プロジェクトの進展 					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> 事業進捗率は39%、用地取得率は93%（平成18年度末見込み）。 野依IC～七根IC間L=2.6kmは暫定2車線供用に向けて全面的に工事を展開中。 東細谷IC～細谷IC間L=2.6kmは一部工事を着手。 残り4.3km区間については、早期工事着工に向け、現在用地買収を実施中。 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> 野依IC～七根IC間は、平成18年度に暫定2車線開通予定。 七根IC～東細谷IC間は、平成20年代前半の暫定2車線開通を目指す。 					
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> 建設残土の積極的有効活用、インターチェンジ部などの跨道橋を函渠に変更及び縦断線形を見直し盛土量の削減等によりコスト削減を図っている。引き続きコスト削減に努めながら、現計画に基づいて事業を推進する。 代替案として考えられる現道国道1号の拡幅は、住居連日地区であり、計画変更は困難。 					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の点を勘案し、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。					
事業概要図	<p>The map illustrates the Toyouke East Bypass route (L=9.18 km) connecting Higashi-Hosogaya and Noe. It shows the bypass route in red, bypassing the existing National Route 1 and National Route 23. Key features include the Noe IC, Hosogaya IC, and various interchanges. An inset map shows the project location within Aichi Prefecture.</p>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。